

チタラペ（模様入りのゴザ）

伝統的なアイヌの住居において、チタラペ（藁で編んだマット）の用途は多岐にわたります。薄く織られたゴザは床や壁を覆う布として機能するほかに、家宝が飾られている棚を覆うためにも使用されています。また、ゴザは埋葬前の遺体を包む布として使われることもあります。多くのチタラペにはアイヌの家庭用品や着物に見られるカギカッコ柄の守護の模様がデザインされています。